

# あんだんて通信



新年度が始まりました！今年度もアンダンテ21にとって飛躍の一年となるよう、ご理解とご協力のほどよろしくお願ひします。

## 令和4年度活動報告



### ハマグリ稚貝調査

(水産多面的機能発揮対策事業)

チョウセンハマグリの子貝調査を、年間を通じて実施しています。ハマグリ漁場の中須海岸や、津田海岸で、稚貝の生息密度や大きさをモニタリングし、データを漁業者にフィードバックすることで、資源保護につなげています。安田小や吉賀高校の授業内でも実施するなど、調査を通じてハマグリ保全の啓発も行っています。

### 川ガキ講座 & 海ガキ講座

(各団体との協働事業)

表匹見峡での沢登りや、ゴリ突きを体験する、恒例の「川ガキ講座」。本年は匹見レストパークさん(一般参加者対象)および、匹見上公民館さん(地元小学生対象)との協働で二回実施しました。

また、益田青年会議所さん主催のイベントでは、飯浦港を中心に、磯遊びや魚釣りの体験を行いました。



### 環境教育活動

(みーもスクール等)

小学校や高等学校、公民館行事等での環境学習を、50回以上も行いました。川や海でのフィールド体験をはじめ、森林学習や環境問題についての講義等、地域環境を通じて子供たちに郷土愛を育んでもらえる教育活動を展開しています。

### お仕事の依頼をお待ちしています！

活動継続のための予算確保に毎年苦労している当法人ですが、補助金、助成金、寄付金等に頼った資金繰りでは、絶対に長続きはしません。もちろん、ボランティアでは思うような活動は出来ません。NPOでも「収益化」が課題となっています。講師派遣、ネイチャーガイド、調査・コンサルティングなどの業務依頼を募集しています。

## 益田川石倉かご調査

(水産多面的機能発揮対策事業)

益田川の津村橋上流で、石倉かごを用いた水生生物量の定点調査を行いました。本調査は6年目を迎えますが、開始時から生物相の変化が現れてきており、環境変化が懸念されます。今後も調査を継続し、益田川の環境再生活動にフィードバックしていきたいと思えます。



## どんぐりの植林事業

(どんぐりの森づくり事業)

島根県企業局の委託により、白上川上流部に位置する二条植林地に植林を行いました。本年も、安田小学校5年生および吉賀高校2年生と、二条地域の皆さんで協力し、クヌギとコナラの苗木を植林しました。

## 益田川下流再生事業

(水産多面的機能発揮対策事業)

当法人と漁業者で作る「益田川と海をつなぐ自然環境保全活動組織」として、益田川下流域でのヨシ刈取り、一斉清掃等を行いました。11月23日に行われた秋季一斉清掃では、あいにくの雨模様でしたが、地元企業や小学生、漁業者が協力して、下流域のゴミを一掃しました。毎年のゴミ量も減少してきており、継続の成果が出てきていると感じます。



## 第13回ハマグリ貝アート展

(水産多面的機能発揮対策事業)

第13回目となるハマグリ貝アート展を、12/17～12/20にグラントワ多目的ギャラリーで開催しました。200点を超える多くの力作が集まりました。また、コロナ禍の状況を考え、インターネット上でのWeb展示も併せて実施しました。

## 事務所が移転いたします！

グラントワ裏の事務所が老朽化により取り壊されることになり、事務所を移転いたします。4月に引越しをして、5月に住所移転を予定しています。新しい住所は「高津1丁目43-24」です。高津川漁協さんの旧高津支所の建物をお借りする形になり、高津川の目の前の最高のロケーションです！

# 年間行事予定

## 今年度の主なイベント予定(案)

日にち	イベント内容	時間と会場
4月28日(金)	アンダンテ21総会	18:30よりアンダンテ事務所にて
5月30日(火)	益田川と海をつなぐ自然環境保全活動組織総会	17:30よりアンダンテ事務所にて
6月17日(土)	交流イベント(海の命をいただく会)	飯浦にて
6月下旬	どんぐり植栽地草刈り	二条、横田植林地
6月下旬	手長エビとり大会(交流イベント)	19:00より高津川にて
7月13日(木)	石倉かご設置	15:00 津村橋にて
7月下旬~8月上旬	川ガキ講座匹見	匹見にて公民館と共同開催
8月11日(祝)	ハマグリ稚貝調査	津田海岸にて
8月26日(土)	第一回石倉カゴ調査	10:00より津村橋にて
9月1日	ハマグリアート展募集開始	作品受付開始
9月下旬	第二回石倉カゴ調査	津村橋にて
10月	どんぐり植林・間伐	二条植林地にて
11月上旬	益田川ヨシ刈り取り	月見橋上流のヨシ刈り作業
11月23日(祝)	益田川一斉清掃	8:30より清掃開始
12月13日-17日	第13回ハマグリ貝アート展	グラントワ多目的ギャラリーにて
1月20日(土)	冬季益田川一斉清掃	8:30より清掃開始

・ハマグリ稚貝調査を年4回程度実施。  
・必要に応じて、臨時総会を開催。  
・小学校や高校での環境教育(室内講義、フィールドでの生物採取、ゴミ調査、森林学習等)を年50回程度実施。(どんぐりの森づくり、みーもスクール 他)  
・他、講師やコンサルティングなどの委託業務を随時実施。  
・ネイチャーガイド事業を随時実施  
・会員主催の交流イベント等、提案があれば随時実施。

新型コロナウイルスの影響は落ち着いてきたとはいえ、続きそうです。梅雨時期以降の状況で、大幅な変更の可能性もあります。

あくまで現段階でのスケジュール案です。

正式な日時が決定し次第、逐次ご連絡いたしますので、スケジュール調整をお願いします。

5~7月は学校関係の学習も大変多い(2日に1回ペース)ですので、お手伝いが必要な場合、呼びかけさせていただきます。

コロナも落ち着いてきたので、3年ぶりの「いただく会」や、食べ物系イベントを開催したいですね！

## 2023年度 アンダンテ21通常総会のご案内

年度初めの総会を下記の通り開催いたします。会員の皆様には是非ご出席いただきますよう、よろしくお願ひします。当日のご都合がつかない正会員様におかれましては、お手数ですが必ず同封の委任状をご提出いただきますようお願いいたします。

【日時】 4月28日(金) 18:30~20:00

【会場】 アンダンテ21 新事務所(駐車場は、高津川の河川敷になります)  
高角橋の左岸側の土手を下流方向に下ってください。

# メンバーズ・コラム

## 水仙のおはなし 副理事長 渡邊 勝美

この原稿を書いている現在、3月下旬で世間は桜の季節、お手元に届く頃はソメイヨシノも葉桜になると思うので、やや時期を逸した話題であるがお許し願いたい。

我が家の花壇に黄色や白の水仙が丁度満開である。これらは西洋水仙であるが、日本水仙というものがあり、多くの皆さんは水仙というこの花を思い浮かべるであろう。鎌手の町興しの花であり、益田市のマンホール蓋も水仙の絵柄でもある。植物名としてはニホンスイセンとカタカナ表記をするのが正しい。学名は*Narcissus tazetta var. chinensis* (ナルシス タゼッタ ヴァー シネンシス)という。学名の説明をすると、ナルシスはスイセン属を示す。続く言葉はこの植物の特徴を表す形容詞の部分である。タゼッタはイタリア語で小さなコーヒーカップを意味し、白い花弁の中にある黄色い副花冠の形を表す。続くvar.は変種varietyの略で次のシネンシスは志那(中国)である。つまり、この学名は「小さなコーヒーカップのような副花冠を持つナルシス属の中国の変種」という意味となる。日本水仙ではなく中国水仙というのが本来正しい。だが、中国原産かということ、そうではなく原産地は地中海沿岸である。

ギリシャ神話に、池の水面に映った自分の姿に恋をして溺れて死んだ少年の亡骸を埋めた後に咲いたのが水仙だという有名な話がある。少年の名はナルシス。この話とともにシルクロードを渡ってきたこの花は次第に現在の我々の知る姿へと姿を変えたのであろう。ナルシスの話は中国までは確かに伝わったと考えられる。中国で仙とは神と人の中間の存在を表す言葉であり、池に落ちて花に姿を変えた少年を水の仙とした。



つまり、水仙はナルシスの中国名である。日本への渡来の時期は確定されておらず、その渡来方法も対馬海流に乗って球根が漂着してきたという説と室町以前に人の手で持ち込まれたという2つの説がある。私が高校生の頃読んだ雑誌「図書」に能登半島にスイセンの名所が多いことから、漂着説が述べられていた。しかし、私は薬草として仏教僧によって持ち込まれたと考えている。漂着したものが勝手に根付いたなら日本固有の名称がついたはずだが、中国名が和名となったのは、生薬の名札とともに渡来したことを示すと考える。

漢方では花を乾燥したものを活血調整薬として婦人病の内服薬に用い、また球根をすりおろしたものを乳腺炎・腫物・筋肉痛・肩こり等の外用薬とした。

渡来時にナルシスの話は失われているが、これは持ち込んだ仏教僧の意図的なものか、既に中国で忘れられた物語となっていたかは定かでない。

なお、地中海周辺の前種スイセンは約30種あるそうだが、ニホンスイセンの前種がどのような種で、どのような過程で現在の亜種に変貌したかは、シルクロードを遡ればわかるかもしれない。

## 新規会員募集中

活動の拡大のため、新規会員や協賛企業を募集しています。会員の皆様におかれましても、お声掛けにご協力ください。会員募集と申し込み用紙の資料は事務所にございます。  
個人年会費 10000円(正会員)、3000円(賛助会員) 企業協賛金 一口50000円

## お問い合わせ

発行元: NPO法人アンダンテ21事務局  
〒690-0032 益田市水分町18-10  
TEL/FAX: 0856-24-8661  
E-mail: andante2100@gmail.com

